

## 地域づくり 【(2) 地域における子育て環境の醸成】

### 基本施策/地域・ボランティア・NPOが主体となった子育て支援

事業番号	28	29	30	31	32
事業名	育児サークル・フリースペース活動への支援	ほっと子育てふれあい事業	里親事業	シルバー人材センターによる「高齢者活用子育て支援事業」	空き店舗賃借料補助
事業概要	未就学児の親同士が交流を通して子どもの遊び、体験活動、子育て勉強会など、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また子ども連れでも自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援すると同時に、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスを行う。	保護者のいない子どもや保護者がいるいるな事情で育てられない子どもの養育を里親に委託する。また、里親の開拓と啓蒙を図ることを目的とする北九州市里親会の活動を支援する。	子育て経験の豊富なシルバー人材センターの会員が保育園への送迎、子守、託児等のサービスを行う。	商店街の買い物環境の向上と魅力アップを図るため、空き店舗を活用し、保育施設や親子交流施設等のコミュニティ施設を設置する団体（商店街振興組合など）に、賃借料・改装費の一部を助成する。
指標	実施箇所数	会員数	里親登録数	件数	-
初期年度：初期値（計画策定時）	15年度：108か所	16年度：1,400人	16年度：47組	16年度：144件	-
目標年度：目標値	21年度：全市民センター	21年度：1,900人	21年度：70組	21年度：288件	-
実施年度：実績値	19年度：121か所の市民センターで実施	19年度：2,187人	19年度：60組	19年度：367件	-
19年度実施状況等	校区の市民センター等を拠点として活動している。育児サークルやフリースペース等のグループ活動を支援し、子ども連れで気軽集える場の確保や育児相談や育児情報の提供に努めている。現在、母親同士の集まりの場として、気軽集えるフリースペースの需要が高まり、グループ数も増えている。  開催箇所数 ・育児サークル：70か所【内52か所保健師支援有り】 ・フリースペース：141か所【内28か所保健師支援有り】 121か所の市民センターで実施。児童館、小学校等の開催など合わせると123か所。保健師の支援96か所。	活動内容 保育所、放課後児童(学童保育)クラブ等の開始時間前及び終了後の保育や送迎など。  活動件数：10,020件  会員数：2,187人（達成率115.1%）	里親の募集を行った。里親と委託児童の調整を行った。  里親登録数：60組（達成率85.7%）	受注延件数：367件（達成率127%） ・会員数：367人	支援数：2ヶ所 ・門司区（1ヶ所）休憩所（トイレあり）としての利用のほか、学生の絵画展や商店街のイベントなどで利用されている。 ・八幡西区（1ヶ所）休憩所（トイレあり）としての利用のほか、商店街のイベントなどで利用されている。
備考（特記事項）			当初、初期値誤りのため、修正。		
担当（課）	子ども家庭・子育て支援課	子ども家庭・子育て支援課	子ども家庭・子ども総合センター	産業経済・雇用開発課	産業経済・商業振興課

## 地域づくり 【(2) 地域における子育て環境の醸成】

### 基本施策/地域・ボランティア・NPOが主体となった子育て支援

事業番号	341
事業名	「わらべの日」(子育て支援の日)事業
事業概要	民間発案により毎月第二日曜日を「わらべの日」と決め、子どもとふれあう機会を拡大し、家庭・企業・地域全体が共同で子育てを支援する意識を広く浸透させる。
指標	-
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-
目標年度： 目標値	-
実施年度： 実績値	-
19年度 実施状況等	登録数：460店舗・施設
備考 (特記事項)	18年度新規事業
担当(課)	子ども家庭・ 子ども家庭政策課

# 地域づくり 【(2) 地域における子育て環境の醸成】

## 基本施策/ボランティア・NPO活動への支援、育成

事業番号	33	34	35	36	37
事業名	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰	ボランティア活動促進事業	NPO・ボランティア活動促進事業	市民活動保険	社会福祉ボランティア大 学校運営委託
事業概要	子育て支援や男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組む企業や団体等を表彰し、その取り組みを広くPRする。	市内のボランティア活動の活発化のため、市民ボランティア・市民活動センターの機能の充実を図り、活動に関する情報の収集と提供、需給調整を行う。また、市民により身近な拠点として区ボランティアセンターを設置、運営する。	市民活動サポートセンターの運営を中心に、NPO・ボランティア活動に関する相談受付、情報提供、研修・啓発や団体間のネットワークづくりなど各種支援策を実施する。また、「市民活動支援評価会議」にて既存の支援策の評価や新たな支援策の検討を行う。	市民が安心して地域活動やボランティア活動に参加できるように、それらの活動に参加する市民全員を対象として、市が保険に加入し、一定の水準の補償を行う。	社会福祉ボランティア大 学校において、地域福祉推進研修や次世代のボランティア育成に関する研修カリキュラムを充実し、地域福祉活動者やボランティアの育成と資質向上を図る。
指標	制度創設	-	-	-	-
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-	-	-	-	-
目標年度： 目標値	17年度：制度創設	-	-	-	-
実施年度： 実績値	19年度：5企業・1団体・ 2個人を表彰	-	-	-	-
19年度 実施状況等	19年度に「子育てしやすい環境づくりを進める企業・団体等表彰(子ども家庭政策課)」と「男女協働実践企業表彰(ムーブ)」を発展的に統合・整理  募集：11月 応募：企業・団体部門13件、個人部門6件 表彰式開催：3月 表彰 5企業・1団体・2個人を表彰 ・医療法人財団はまゆう会 王子病院 ・株式会社グ リーム ・社会福祉法人南 風会ヘルシーハイム ・株 式会社 三井ハイテック ・医療法 人寿芳会芳野病院 ・北九 州商工会議所女性会 ・高 橋素子(三萩野病院看護部 長) ・緒方有為子(福祉 用具プラザ北九州)	国内研修助成：1名 ボランティア登録 ：615団体	総合相談業務 活動情報提供 ・ホームページ(キラキラ ネット)の運営 ・メールニュースの配信 ・広報誌の発行 活動の場提供 ・ミーティングコーナーや フリースペース等の貸出 機材の貸出 ・コピー機や印刷機、紙折 り機等の貸出 ・ロッカー、メールボック スの貸出 交流機会の提供 ・「サポートセンターの 日」の開催 研修・啓発事業実施 ・専門相談会、講演会等の 開催 NPO法人申請出張受付 ・福岡県生活文化課の職員 (認証担当課)による出張 相談 市民活動保険申請窓口	対象者 北九州市民もしくは活動の拠点が市 内にある方 対象となる活動 以下の条件を全て満たす活動 ・無報酬の活動(交通費等実費の支 給は除く) ・年間を通じて計画的・継続的な活 動 ・自主的に構成されたグループ、個 人または住民が行う公益性のある 活動 ・日本国内における活動 補償内容 [賠償責任] ・対人賠償 1名につき 100,000千円 1事故につき500,000千円 ・対物賠償 1事故につき10,000千円 ・保管物賠償 1事故につき5,000千円 [傷害保険] ・死亡7,000千円 ・後遺障害210～7,000千円 ・入院、通院 1日につき 入院3,000円、通院2,000円	講座、研修等の実施 ・合計：30回 ・延：59日 ・総参加人員：2,409人
備考 (特記事項)	19年度拡充(ハートフル 子どもプラン)により、 事業名・事業概要を変 更。	ボランティアの高齢化が目立ち、団体と しての運営が立ち行かなくなったところ が、活動の休止や中止に追い込まれてい る。また、複数団体が統合して細々と活 動を継続しているところもあるため、全 体数は目標通りに増やすことは困難。			
担当(課)	子ども家庭・子ども家庭政 策課、男女共同参画推進部	保健福祉・いのちをつな ぐネットワーク推進課	総務市民・地域振興課	総務市民・地域振興課	保健福祉・いのちをつな ぐネットワーク推進課

## 地域づくり 【(2) 地域における子育て環境の醸成】

### 基本施策/ボランティア・NPO活動への支援、育成

事業番号	38	39	370
事業名	福祉・ボランティア教育副読本の作成	子ども会活性化事業	NPO公益活動支援事業
事業概要	小中学生が地域社会の一員であることを自覚し、他人を思いやる心やボランティア精神をはぐくむことができるように、福祉ボランティア教育用副読本を作成する。	「地域で無理なく継続する、子どもが主役・主体となる楽しい子ども会づくり」の普及啓発を通して、子ども会活動の活性化に向けた地域への働きかけ、子ども会活動に関する相談受付、情報提供などを行い、地域教育力を支える子ども会活動を支援する。	NPO法人などの市民活動団体が行う専門性を発揮した取り組みや先進的な事業に対して、事業費の一部を助成する。
指標	-	-	-
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-	-	-
目標年度： 目標値	-	-	-
実施年度： 実績値	-	-	-
19年度 実施状況等	市内小・中・特別支援学校、関係機関に配布 ・小学生用：12,900部 ・中学生用：11,900部	活動相談件数：23件 新規設立支援：4件 出前トーク：9団体 情報収集・提供件数：157件 講演会開催： 平成19年10月13日(土) 参加者26人 子ども会講座開催： 平成20年3月22日(土)・30日(日) 参加者22人 子ども会ミーティングの実施：6団体 アドバイザー会議の実施：2回 モデル子ども会の支援：3団体	NPO公益活動支援事業 申請事業数：7件 助成事業数：6件 助成金額：1,818,250円
備考 (特記事項)		平成17年度に「地域子ども会活動アドバイザー会議」でまとめた提言をもとに当事業を推進していくこととなったため、事業概要を変更。	19年度新規事業
担当(課)	保健福祉・総務課	子ども家庭・青少年課	総務市民・地域振興課

## 地域づくり 【(2) 地域における子育て環境の醸成】

### 基本施策/世代間の交流の推進

事業番号	40	41	42	43	43
事業名	高齢者による子育て支援モデル事業	年長者の生きがいと創造の事業	高齢者の生きがいと健康づくり地域活動支援モデル事業	異年齢・異世代交流の推進	異年齢・異世代交流の推進
事業概要	おもちゃの病院や絵本の読み聞かせなど、高齢者の持つ豊かな経験を活用した子育て支援活動を行い、異なる世代間のふれあい・交流を促進する。	老人クラブが行う友愛訪問活動、施設訪問活動、文化伝承創造活動などの地域活動を支援することで、高齢者の生きがい・健康づくりの向上および地域社会の活性化を図る。	地域の高齢者と小学校との交流を図る活動等、地域住民が相互に支え合う地域づくりを推進するモデル事業を支援し、地域住民活動誘発の動機付けを行う。	保育所や幼稚園において、乳幼児が様々な人とふれあい、親しみを感じ、人とかかわる力をはぐくむため、地域活動への積極的な参加や施設の開放などを通して、地域の高齢者・中学生・高校生との異世代・異年齢交流を促進する。	保育所や幼稚園において、乳幼児が様々な人とふれあい、親しみを感じ、人とかかわる力をはぐくむため、地域活動への積極的な参加や施設の開放などを通して、地域の高齢者・中学生・高校生との異世代・異年齢交流を促進する。
指標	-	-	-	実施施設割合 (保育所)	実施施設割合 (幼稚園)
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-	-	-	16年度：50%	16年度：50%
目標年度： 目標値	-	-	-	21年度：100%	21年度：100%
実施年度： 実績値	-	-	-	19年度： (保育所)100%(156施設)	19年度：81.7% (公立幼稚園)全8園で実施 (私立幼稚園)77園で実施
19年度 実施状況等	小学校や市民センターにおいて、子育て支援活動の実施 ・実施回数：45回	一般事業 (1)友愛訪問活動 独居高齢者宅への訪問及び交歓会の開催等 (2)施設訪問活動 施設奉仕活動、入所者との交流 (3)文化伝承創造活動 伝統芸能・遊具の伝承教室や郷土料理教室の開催等実施 実施ｸﾗﾌﾞ数:856ｸﾗﾌﾞ 特別事業 老人クラブによる個性的で先駆的な取り組み (例示) 戦争体験文集づくり講習会、昔遊び、芋づくり、児童安全パトロール、家庭廃油を使用した石鹸づくり ・実施校区数：6校区	平成18年度にて事業終了	【保育】全保育所で実施し、地域の高齢者・中学生・高校生との異世代・異年齢交流を行った。 156施設で実施。	【公立幼稚園】全8園で実施。  【私立幼稚園】職場体験、介護福祉施設訪問など各園で独自に実施している。
備考 (特記事項)		特別事業は平成19年度をもって終了	平成18年度にて事業終了		
担当(課)	保健福祉・ 高齢者支援課	保健福祉・ 高齢者支援課	保健福祉・ 高齢者支援課	子ども家庭・保育課	教育・企画課、 指導第一課

## 地域づくり 【(2) 地域における子育て環境の醸成】

### 基本施策/市民と行政の「協働」による施策の推進

事業番号	44	45	46
事業名	次世代育成行動計画の推進	パブリックコメント制度の実施	市民参加による公園づくり
事業概要	次世代育成行動計画の進捗状況の検証や評価を行うため、市民代表や専門家等からなる“フォローアップ組織”として、「新新子どもプラン推進懇話会」を設置する。また、検証結果等については、ホームページ等で広く市民に周知する。	次期少子社会対策に関するプランを策定する際、中間案を市民に幅広く周知し、意見や提案を募集するパブリックコメント制度を実施する。	市民生活の身近にある街区公園が、より利用されるように「ハートフル公園計画」として、「まちづくり協議会」を中心に、地域の意見を計画段階から聞きながら、地域ニーズを踏まえた公園再整備等を進める。
指標	委員会設置	パブリックコメント実施	箇所数
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-	16年度：実施	～15年度：14か所
目標年度： 目標値	17年度：設置	21年度：実施	17年度～：年間2～3公園を計画整備
実施年度： 実績値	19年度：年3回開催	-	19年度：1公園の計画づくり及び3公園の整備
19年度 実施状況等	「新新子どもプラン推進懇話会」(平成17年8月設置)を8月、11月、1月に開催。	未実施	計画(1公園) 森下公園 整備(3公園) 天籟寺公園、松尾町公園、道永公園
備考 (特記事項)		平成21年度の後期計画策定時に、パブリックコメントを実施予定。	拡充(ハートフル子どもプラン)に伴い、事業概要を変更。
担当(課)	子ども家庭・子ども家庭政策課、教育・企画課	子ども家庭・子ども家庭政策課	建設・公園建設課